|  |
| --- |
| １　小学校　低学年 |
| 危ないことをしていないか考えよう |
| 指導する学年 | 低学年 | 指導場面 | 特別活動（学級活動） | 指導する時数 | １時間 |
| 本時のねらい | 安全な学校でも、危険がたくさんあることに気付く。危険を予測し、安全に生活しようとする気持ちを持つ。 |
| 使用する資料 | 運動場・校舎等のイラスト | 基本的な指導内容 |
| １ けがや事故を防ぐために |
| 学習内容・活動 | 指導上の留意点 |
| **導　入**１．危ないところはどこか考える・運動場や校舎など学校内には、危険があることに気付く。・ワークシートの危険な場面に○を付ける。（P.20にワークシート有り）（P.45に黒板掲示用資料有り）もし　○○したら　どうなるかな？**展　開**２．毎日の遊びの中に潜む危険について考え、話し合う・「もし○○したら、××になるかもしれない。」を考え、隣の人とペアで起こるかもしれない危険を予測する。・みんなの前で、２人で考えた危険予測を発表し、安全な遊び方について話し合う。（※もし、知らない人が、「お菓子をあげるから、車にのらない？」と言ってきたら、どうする？）**まとめ**３．本時の学習をまとめる・学習を振り返り、これから安全に生活したり、遊んだりしていくために学んだことやがんばりたいことをワークシートに記入する。・記入したことを発表する。安全な学校にも危険がたくさんあることを知り、危険を予測し、安全な生活を心がける。≪一口メモ≫＊事前指導…朝の会や帰りの会等で、運動場の遊び方や校舎内での過ごし方等に注意喚起を促しておく。＊事後指導…朝の会や帰りの会等で生活を振り返り、自分が決めたことを守れたかどうか振り返りの時間をとるようにする。＊ワークシートの中で、自分がこれからできることを自己決定させ、事後活動として朝の会や帰りの会で、自分の行動を振り返り、児童の行動化につなげる。※学級活動（2）－カで展開例を書いているが、集団目標を決めるのであれば学級活動（1）-ウで実施する事も可能 | ○危険なことをしている場面に○を付けさせることで、安全な場所でも事故が起きることに気付かせる。○危険を考え、危険な遊びをしている場面を見つけることができたか。○「もし、ろうかをはしったら、すべってころんでけがするかもしれない。」など、友達と意見交換することで、様々な危険を予測させる。○ペア学習で、いろいろな危険を予測し、話したり、書いたりしているか。○「もし○○したら、××になるかもしれない。だから□□しよう（気を付けよう）。」行動や気持ちの解決策、改善策を全体で確認する。※事例は、学校の状況により取り入れるようにしたい。（各学校における被害状況を調査のうえ、安全教育の一環として犯罪防止教育を場合によって扱う。）○学習を振り返ることで、安全な場所でも、様々な危険を予測したり、危険か安全かを判断したりできるようにする。○発表後、教員の補足を入れてまとめる。○ワークシートを読みとり、児童の気付きについて評価を行う。**評 価**○学校内における危険を知り、危険を予測し、安全に生活できる方法を考えているか。　（ワークシート） |
| 関連する教科・行事等 | 道徳：低-（3）善悪の判断、朝の会、帰りの会 |